

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1040 U.S.
10/0054
12/02/0

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2000年11月17日

出願番号
Application Number:

特願2000-351835

出願人
Applicant(s):

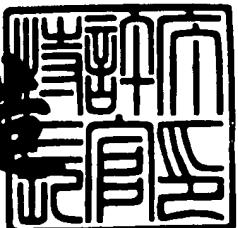
村田機械株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月31日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3080849

【書類名】 特許願

【整理番号】 21585

【提出日】 平成12年11月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 京都府京都市伏見区竹田向代町136番地 村田機械株式会社 本社工場内

【氏名】 谷本 好史

【特許出願人】

【識別番号】 000006297

【氏名又は名称】 村田機械株式会社

【代表者】 村田 純一

【代理人】

【識別番号】 100078868

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 登夫

【電話番号】 06(6944)4141

【選任した復代理人】

【識別番号】 100114557

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 英仁

【電話番号】 06(6944)4141

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001889

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9805283

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 公衆網及びコンピュータ網の夫々と接続する手段と、何れの網を利用するのかを示す網情報が付与された画データの送信先の識別情報が入力された場合、前記網情報に示されている網を利用して前記送信先へ画データを送信する手段とを備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 公衆網及びコンピュータ網の夫々と接続する手段と、画データの送信先の識別情報と公衆網又はコンピュータ網の何れの網を利用するのかを示す網情報とを対応付けて記憶する手段と、識別情報が選択された場合、該識別情報に対応付けられている網情報に示されている網を利用して前記送信先へ画データを送信する手段とを備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 構内網と接続する手段を更に備え、前記公衆網と接続する手段は、前記構内網に接続されている構内交換機を介して公衆網と接続すべくなしてあり、前記網情報は、構内網、公衆網又はコンピュータ網の何れの網を利用するのかを示していることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、公衆網又はインターネット等のコンピュータ網の何れかの網に対して画データを送信するファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、LAN (Local Area Network) を通信回線で接続してさらにネットワーク化したインターネットを介して、種々のデータの送受信を行うことが可能なコンピュータ網が普及しつつある。このようなコンピュータ網を利用する場合、ユーザは、最寄りのプロバイダ (インターネットへの接続業者) までの通信費用 (回線使用料及びプロバイダへの接続費用) を負担するだけで日本国内のみならず

全世界のコンピュータと通信することができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上述したようなコンピュータの普及に伴い、インターネット上で音声情報を通信するための技術であるV o I P (Voice over IP) 技術が進展している。このV o I P技術を用いることにより、コンピュータ網を介してリアルタイムの画像データの送受信を行うことができるようになってきている。

【0004】

以下にV o I P技術を用いた場合のファクシミリ装置間の画データの送受信処理について図7を参照して説明する。図7において、100は送信側のファクシミリ装置を、200は受信側のファクシミリ装置を夫々示している。また、300は送信側のゲートウェイ装置を、400は受信側のゲートウェイ装置を夫々示している。ここでゲートウェイ装置とは、公衆網Mとコンピュータ網Nとを接続する機能を有している装置のことであり、上述したプロバイダ等に設置されている。

【0005】

ファクシミリ装置100は、従来のファクシミリ通信手順により、送信すべき画データを公衆網Mを介してゲートウェイ装置300へ送信する。次に、ゲートウェイ装置300は、ファクシミリ装置100から受信した画データを、コンピュータ網Nを介してゲートウェイ装置400へ送信する。そして、ゲートウェイ装置400は、ゲートウェイ装置300から受信した画データを、同じく従来のファクシミリ通信手順により、公衆網Mを介してファクシミリ装置200へ送信する。これにより、ファクシミリ装置200にて、ファクシミリ装置100から送信された画データが受信される。

【0006】

なお、上述したファクシミリ装置100とゲートウェイ装置300との間及びゲートウェイ装置400とファクシミリ装置200との間で行われる通信は、公衆網を利用したファクシミリ通信を規定する国際電気通信連合 (I T U : International Telecommunication Union) の勧告T.30 (ITU-T Recommendation) にし

たがって行われる。また、ゲートウェイ装置300とゲートウェイ装置400との間で行われる通信は、コンピュータ網を利用したファクシミリ通信を規定するITUの勧告T.38にしたがって行われる。

【0007】

このように、ゲートウェイ装置300, 400を介することにより、ファクシミリ装置100とファクシミリ装置200との間で、コンピュータ網を利用したリアルタイムのファクシミリ通信が可能になる。

【0008】

しかしながら、コンピュータ網を利用する場合、上述したように、送信側のファクシミリ装置100は、受信側のファクシミリ装置200を呼び出すのではなく、送信側のゲートウェイ装置300を呼び出すことになる。そのため、ファクシミリ装置100からファクシミリ装置200へ画データを送信する場合、ユーザは、ゲートウェイ装置300及び送信先であるファクシミリ装置200の両装置のファクシミリ番号を指定しなければならず、操作が煩雑になるという問題があった。

【0009】

本発明は斯かる事情に鑑みてなされたものであり、コンピュータ網と接続する手段を有することによりゲートウェイ装置としても機能し、しかも、公衆網又はコンピュータ網の何れの網を利用するのかを示す網情報を付した送信先のファクシミリ番号等の識別情報が入力された場合に、その網情報に示されている網を利用して画データの送信を行うことにより、ユーザが煩雑な操作を強いられることなく所望の網を利用した画データの送信を容易に行うことができるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0010】

また本発明の他の目的は、コンピュータ網と接続する手段を有することによりゲートウェイ装置としても機能し、しかも、送信先の識別情報と何れの網を利用するかを示す網情報とを対応付けて記憶しておき、ユーザによって識別情報が選択された場合、その識別情報と対応付けられている網情報に示されている網を利用して画データの送信を行うことにより、ユーザが特別な操作をしなくとも自動

的に適宜の網を利用した画データの送信を行うことができるファクシミリ装置を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】

第1発明に係るファクシミリ装置は、公衆網及びコンピュータ網の夫々と接続する手段と、何れの網を利用するのかを示す網情報が付与された画データの送信先の識別情報が入力された場合、前記網情報に示されている網を利用して前記送信先へ画データを送信する手段とを備えることを特徴とする。

【0012】

第1発明による場合、公衆網及びコンピュータ網の夫々の網と接続されており、ユーザによって、これらの網の何れの網を利用するのかを示す網情報が付与された画データの送信先の識別情報が入力された場合に、その入力された網情報に示されている網を利用して送信先に対し画データの送信を行う。

【0013】

このように、コンピュータ網に接続する手段を備えることにより、ゲートウェイ装置としての機能をも有している。したがって、コンピュータ網を利用する場合であっても、その都度公衆網を介してゲートウェイ装置と通信する等の過程を経ることなく、直接コンピュータ網に対して画データの送信を行うことができる。

【0014】

また、上述した網情報は、例えば通信先のファクシミリ番号の先頭に特定の番号又は記号（“*”，“#”等）を付すことにより表すことができる。この場合、ユーザは、これらの番号又は記号を付したファクシミリ番号を指定するのみで所望の網を選択することができ、その他には特別な操作をする必要がない。

【0015】

第2発明に係るファクシミリ装置は、公衆網及びコンピュータ網の夫々と接続する手段と、画データの送信先の識別情報と公衆網又はコンピュータ網の何れの網を利用するのかを示す網情報とを対応付けて記憶する手段と、識別情報が選択された場合、該識別情報に対応付けられている網情報に示されている網を利用し

て前記送信先へ画データを送信する手段とを備えることを特徴とする。

【0016】

第2発明による場合、公衆網及びコンピュータ網の夫々の網と接続されており、画データの送信先の識別情報とこれらの網の何れの網を利用するのかを示す網情報とを対応付けて記憶している。そしてユーザによって画データの送信先の識別情報が選択された場合に、その識別情報と対応付けて記憶されている網情報を参照し、その網情報に示されている網を利用して送信先に対し画データの送信を行う。

【0017】

このように、予め対応付けて記憶している送信先の識別情報と網情報とに基づいて、公衆網を利用するのか又はコンピュータ網を利用するのかが適宜自動的に決定され、その決定した網を利用した画データの送信が実行される。したがって、ユーザはどちらの網を利用するかを特に意識する必要がなく、送信先の識別情報を入力するのみで、特別な操作をする必要もない。

【0018】

また、コンピュータ網に接続する手段を備えることにより、ゲートウェイ装置としても機能するため、コンピュータ網を利用する場合であっても、その都度公衆網を介してゲートウェイ装置と通信する等の過程を経ることなく、直接コンピュータ網に対して画データの送信を行うことができる。

【0019】

第3発明に係るファクシミリ装置は、第1発明又は第2発明に係るファクシミリ装置において、構内網と接続する手段を更に備え、前記公衆網と接続する手段は、前記構内網に接続されている構内交換機を介して公衆網と接続すべくなしてあり、前記網情報は、構内網、公衆網又はコンピュータ網の何れの網を利用するのかを示していることを特徴とする。

【0020】

第3発明による場合、構内網と接続する手段を備えており、この構内網に接続されている構内交換機（P B X : Private Branch eXchange）を介して公衆網と接続されている。そして、この網情報に示されている構内網、公衆網又はコンピ

ユーザ網の何れの網を利用して送信先に対し画データの送信を行う。

【0021】

これにより、ユーザは、識別情報を入力するのみで、構内交換機を介して構内網又は公衆網に接続されているファクシミリ装置に対して画データの送信を行うことができる。

【0022】

【発明の実施の形態】

以下、本発明をその実施の形態を示す図面を参照して詳述する。

(実施の形態1)

図1は実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置と、そのファクシミリ装置が接続されている構内網、公衆網及びコンピュータ網との構成例を示すブロック図である。図1において、FAX1aはファクシミリ装置を示している。このファクシミリ装置FAX1aは構内網K及びインターネットNTW夫々と接続しており、また後述する構内交換機Pを介して公衆網Lと接続されている。

【0023】

上述した構内交換機Pは、構内網に接続されているファクシミリ装置FAX1a及びFAX1b, FAX1b…同士が通信を行う場合、又はこれらのファクシミリ装置FAX1a及びFAX1b, FAX1b…と公衆網に接続されているファクシミリ装置FAX2とが通信を行う場合に通話路の設定を行う交換機である。なお、各ファクシミリ装置間で行われる通信はITUの勧告T.30にしたがって行われる。

【0024】

また、GTWは公衆網LとインターネットNTWとを接続する機能を有しているゲートウェイ装置を示しており、後述するようにこのゲートウェイ装置GTWを介すことにより、ファクシミリ装置FAX1aとFAX2との間で、インターネットNTWを利用した画データの送受信を行うことができる。なお、ファクシミリ装置FAX1aとゲートウェイ装置GTWとの間で行われる通信は、コンピュータ網を利用したファクシミリ通信を規定するITUの勧告T.38にしたがって行われる。

【0025】

上述したように、本実施の形態では、ファクシミリ装置FAX1aは構内交換機P

を介して公衆網Ｌと接続されているが、直接公衆網Ｌと接続するような構成であってもよい。

【0026】

図2は、実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置FAX1aの構成を示すブロック図である。図2において、1はCPUで構成されている主制御部を示しており、該主制御部1は、バス2を介して以下のハードウェア各部と接続されていて、それらを制御すると共に、ROM4に格納された種々のプログラムを実行する。

【0027】

専用線インターフェース3は、インターネットNTWに接続するために用いられる専用線とファクシミリ装置FAX1aとの接続を制御するための通信インターフェースである。この通信インターフェースを介して、インターネットNTWに接続されているゲートウェイ装置GTW等の通信装置と通信することができる。

【0028】

ROM4は、ファクシミリ装置FAX1aの動作に必要な種々のソフトウェアのプログラムを格納している。またRAM5は、例えばSRAM又はフラッシュメモリ等で構成され、ソフトウェアの実行時に発生する一時的なデータを記憶する。なお、RAM5にフラッシュメモリを使用した場合には、停電、ファクシミリ装置の移動等のために電源が遮断された場合であっても記憶内容が失われることはない。

【0029】

このRAM5の適宜の領域には、後述する2つの対応テーブルが格納されている。なお、これらの対応テーブルは、ユーザの操作によって消去、更新又は追加することが可能である。

【0030】

第1の対応テーブルは、図3に示す対応テーブル5aのように、市外局番とその市外局番に係る地域に設置されているゲートウェイ装置GTWのIPアドレスとの対応を表すテーブルである。ファクシミリ装置FAX1aは、この対応テーブル5aを参照することにより、送信先となるゲートウェイ装置GTWのIPアドレスを

確認することができる。

【0031】

第2の対応テーブルは、図4に示す対応テーブル5bのように、送信先のファクシミリ番号の先頭に付す番号（以下、先頭番号という）と利用する通信網との対応を表すテーブルである。図4に示すとおり、対応テーブル5bでは、先頭番号がない場合は構内網Kが、先頭番号が“0”である場合は公衆網Lが、先頭番号が“*”である場合はインターネットNTWが夫々対応づけられている。

【0032】

また、画像メモリ6は、例えばDRAM等で構成され、後述する読み取部9が読み取った画データを格納し、また外部から公衆網L等を介して受信した画データを格納する。

【0033】

表示部7は、液晶表示装置（LCD）またはCRTディスプレイ等の表示装置であり、ファクシミリ装置FAX1aの動作状態を表示したり、送信すべき原稿の画データ及び受信した画データ、及び通信の利用状況等の表示を行う。

【0034】

操作部8は、ファクシミリ装置FAX1aを操作するために必要な文字キー、テンキー（数字キー）、ワンタッチダイヤルキー、短縮キー及び各種のファンクションキーを備えている。読み取部9は、例えばCCDイメージセンサ等のスキャナにより原稿画像の読み取りを行う。

【0035】

記録部10は、例えば電子写真方式等のプリンタ装置であり、受信した画データをハードコピーとして、A3縦、B4縦、A4縦、B5横、及びA5横等の各サイズの記録紙から最適なサイズの記録紙を選択し、記録する。

【0036】

次に実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置FAX1aの動作について説明する。

図5は、画データの送信を行う場合における本発明のファクシミリ装置FAX1aの動作の流れを示すフローチャートである。

ユーザは、ファクシミリ装置FAX1a にて、送信先のファクシミリ装置FAX1b の内線番号又はファクシミリ装置FAX2のファクシミリ番号である宛先番号を入力する。ここで、公衆網Lを利用してファクシミリ通信する場合は先頭番号として“0”を付加した宛先番号を、インターネットNTWを利用してファクシミリ通信する場合は同じく“*”を付加した宛先番号を入力する。また、構内網Kを利用してファクシミリ通信する場合は内線番号を宛先番号とするが、この場合、ユーザは先頭番号を付さずにその内線番号をそのまま入力する。

【0037】

ファクシミリ装置FAX1a は、上述したようにしてユーザが入力した宛先番号の入力を受け付け(S101)、さらにその宛先番号に対して画データの送信を行うことの指示である送信指示の入力を受け付ける(S102)。そして送信原稿である画データを読み取り(S103)、その読み取った画データを画像メモリ6に格納する。

【0038】

次にファクシミリ装置FAX1a は、ステップS101にて受け付けた宛先番号を参照して、先頭番号の判別処理を行う(S104)。ここで先頭番号が付されていないと判別した場合又は先頭番号が“0”であると判別した場合(S104:なし又は“0”)、構内交換機Pに対して前記宛先番号及び画データを送信する(S105)。

【0039】

構内交換機Pは、ファクシミリ装置FAX1a から宛先番号及び画データを受信した場合、その宛先番号(内線番号又はファクシミリ番号)にしたがって、ファクシミリ装置FAX1b 又はファクシミリ装置FAX2を呼び出し、そのファクシミリ装置FAX1b 又はファクシミリ装置FAX2から応答があった場合、前記受信した画データを、構内網K又は公衆網Lを利用して前記ファクシミリ装置FAX1b 又は前記ファクシミリ装置FAX2へ送信する。

【0040】

一方、ステップS104にて先頭番号が“*”であると判別した場合(S104:“*”)、対応テーブル5bを参照することにより、インターネットNTWを

利用した送信処理を行うことを確認する。そして、ステップS101にて受け付けた宛先番号（ファクシミリ番号）の市外局番及び対応テーブル5aを参照して前記市外局番に係る地域に設置されているゲートウェイ装置GTWのIPアドレスを取得する（S106）。そしてその取得したIPアドレスを宛先に指定することにより、画像メモリ6に格納されている画データ及び宛先番号を、インターネットNTWを利用して前記ゲートウェイ装置GTWへ送信する（S107）。

【0041】

次にファクシミリ装置FAX1aは、画データの送信が成功したか否かを判定する（S108）。この判定は、例えば、ステップS108を実行した後に、ゲートウェイ装置GTWから送信処理が正常に完了したことを示す情報（又は正常に完了しなかったことを示す情報）を受信することによって行う。そして送信が成功したと判定した場合（S108：YES）、処理を終了する。

【0042】

一方、ステップS108にて送信が失敗したと判定した場合（S108：NO）、ステップS101にて受け付けた宛先番号の先頭番号の“*”を“0”に置き換えることによって宛先番号の修正処理（S109）を行った後、上述したステップS105を実行する。これにより、公衆網Lを利用して構内交換機Pからファクシミリ装置FAX2へ画データが送信される。

【0043】

このように、ユーザは、煩雑な操作を行うことなく、先頭番号として“0”又は“*”を付けるか否かのみで、構内網K、公衆網L又はインターネットNTWの何れの通信網を利用するのかを容易に選択することができる。そして、インターネットNTWが選択された場合は、ファクシミリ装置FAX1aがゲートウェイ装置として機能するため、直接インターネットNTWに対して画データを送信することができる。

【0044】

また、インターネットNTW上で行われる通信は信頼性が低いため、インターネットNTWを利用する場合は、公衆網Lのみを利用する場合に比し、画データの送信処理が正常に完了しない事態が生じる蓋然性が高い。しかしながら、上述した

ように、実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置FAX1aは、インターネットNTWを利用してした場合に画データを正常に送信することができなかつたときは、自動的に公衆網Lを利用して画データの送信処理を行うため、確実に送信処理を完了することができる。

【0045】

(実施の形態2)

実施の形態2に係る本発明のファクシミリ装置FAX1aは、RAM5の適宜の領域において、実施の形態1における対応テーブル5bの代わりに図6に示すような対応テーブル5cが格納されている。この対応テーブル5cは、短縮番号又はワンタッチタイヤル等と、その短縮番号又はワンタッチタイヤルに対応する宛先番号と、その宛先番号に対応する送信先の名称及び利用する通信網との関係を表している。この対応テーブル5cは、実施の形態1における対応テーブル5a及び5bと同様に、ユーザの操作によって消去、更新又は追加することが可能である。

【0046】

なお、その他の構成要素については実施の形態1と同様であるので図示及び説明を省略する。

【0047】

次に実施の形態2に係る本発明のファクシミリ装置FAX1aの動作について説明する。

実施の形態1の場合、ステップS101にてユーザからファクシミリ装置FAX2の宛先番号として内線番号又はファクシミリ番号を受け付けているが、実施の形態2の場合、これらの番号以外にもその内線番号又はファクシミリ番号と対応づけられている短縮番号を受け付ける場合がある。また、実施の形態1の場合、宛先番号に先頭番号として“0”又は“*”が付されている場合があるが、実施の形態2の場合はそのような先頭番号が付されることはない。

【0048】

さらに実施の形態1の場合、ステップS104にて先頭番号の判別処理を行うことにより、構内網K、公衆網L又はインターネットNTWの何れの網を利用する

のかを判定を行っているが、実施の形態2の場合、RAM5に格納されている対応テーブル5cを参照し、前記受け付けた宛先番号である短縮番号又はワンタッチダイヤルに対応づけられている通信網を確認することによって何れの通信網を利用するかを判定する。なお、その他の処理については実施の形態1と同様であるので図示及び説明を省略する。

【0049】

このように、ユーザは、特別な操作を行うことなく、通常の場合と同様にして短縮番号、内線番号又はファクシミリ番号を選択するのみで、自動的に適宜の通信網を利用して画データの送信を行うことができる。

【0050】

【発明の効果】

以上詳述した如く、請求項1に記載のファクシミリ装置によれば、コンピュータ網と接続する手段を有することによりゲートウェイ装置としても機能し、しかも、公衆網又はコンピュータ網の何れの網を利用するのかを示す網情報を付した送信先のファクシミリ番号等の識別情報が入力された場合に、その網情報に示されている網を利用して画データの送信を行うことにより、ユーザが煩雑な操作を強いられることなく所望の網を利用した画データの送信を容易に行うことができる。

【0051】

また、請求項2に記載のファクシミリ装置によれば、コンピュータ網と接続する手段を有することによりゲートウェイ装置としても機能し、しかも、送信先の識別情報と何れの網を利用するかを示す網情報とを対応付けて記憶しておき、識別情報が入力された場合、その識別情報と対応付けられている網情報に示されている網を利用して画データの送信を行うことにより、ユーザが特別な操作をしなくとも自動的に適宜の網を利用した画データの送信を行うことができる。

【0052】

さらに、請求項3に記載のファクシミリ装置によれば、構内網を接続する手段を備え、この構内網に接続されている構内交換機を介して公衆網に接続する構成としており、ユーザが送信先の識別情報を入力するのみで、構内網、公衆網又は

コンピュータ網の何れかの網を利用した画データの送信を容易に行うことができる等、本発明は優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置と、そのファクシミリ装置が接続されている構内網、公衆網及びコンピュータ網との構成例を示すブロック図である。

【図2】

実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【図3】

対応テーブルの一例を示す説明図である。

【図4】

対応テーブルの一例を示す説明図である。

【図5】

画データの送信を行う場合における実施の形態1に係る本発明のファクシミリ装置の動作の流れを示すフローチャートである。

【図6】

対応テーブルの一例を示す説明図である。

【図7】

VoIP技術を用いた場合のファクシミリ装置間の画データの送受信処理の説明図である。

【符号の説明】

- 1 主制御部
- 3 専用線インターフェース
- 4 ROM
- 5 RAM
- 6 画像メモリ
- 7 表示部

8 操作部

9 読取部

10 記録部

FAX1a, FAX1b, FAX2 ファクシミリ装置

GTW ゲートウェイ装置

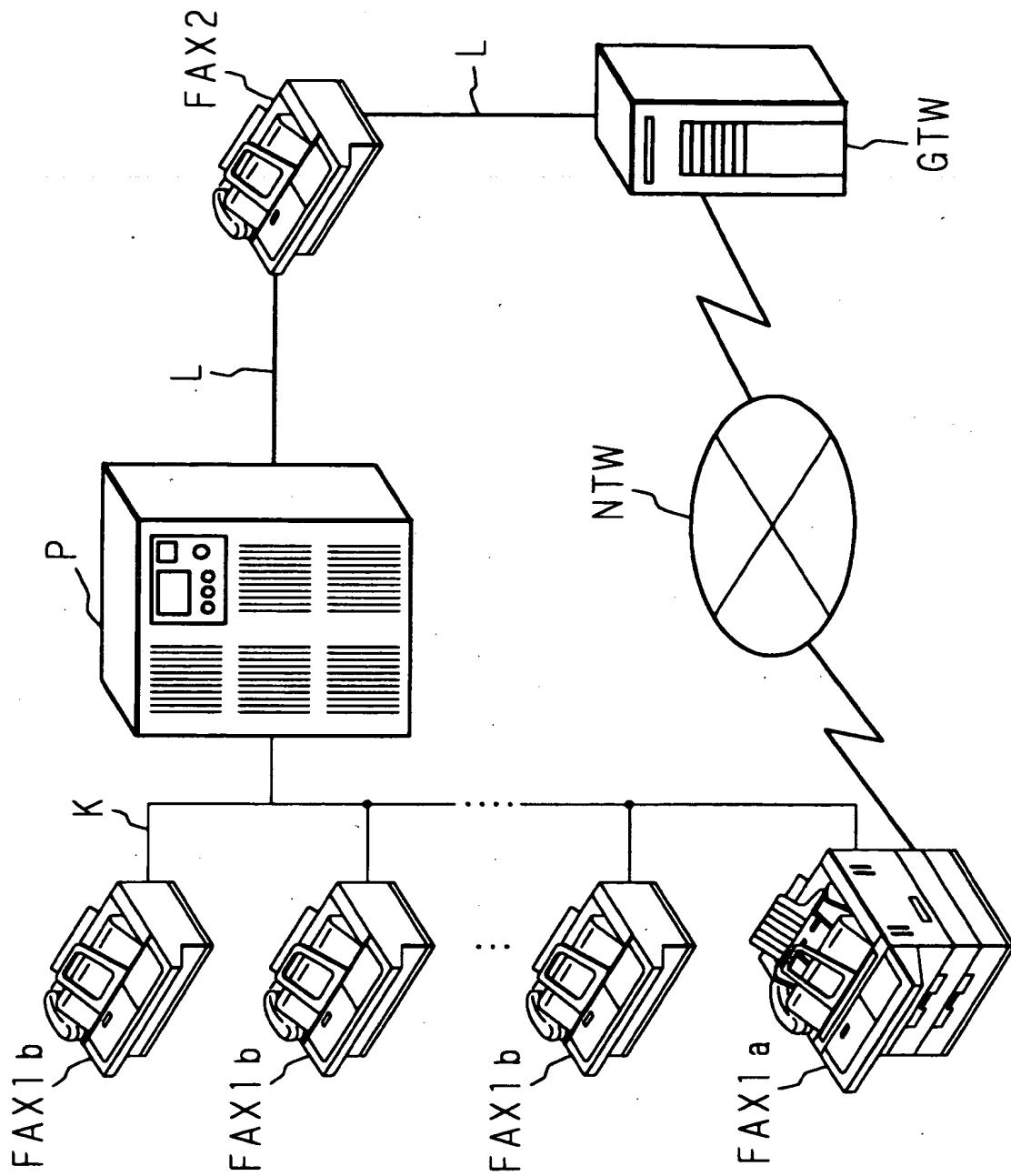
K 構内網

L 公衆網

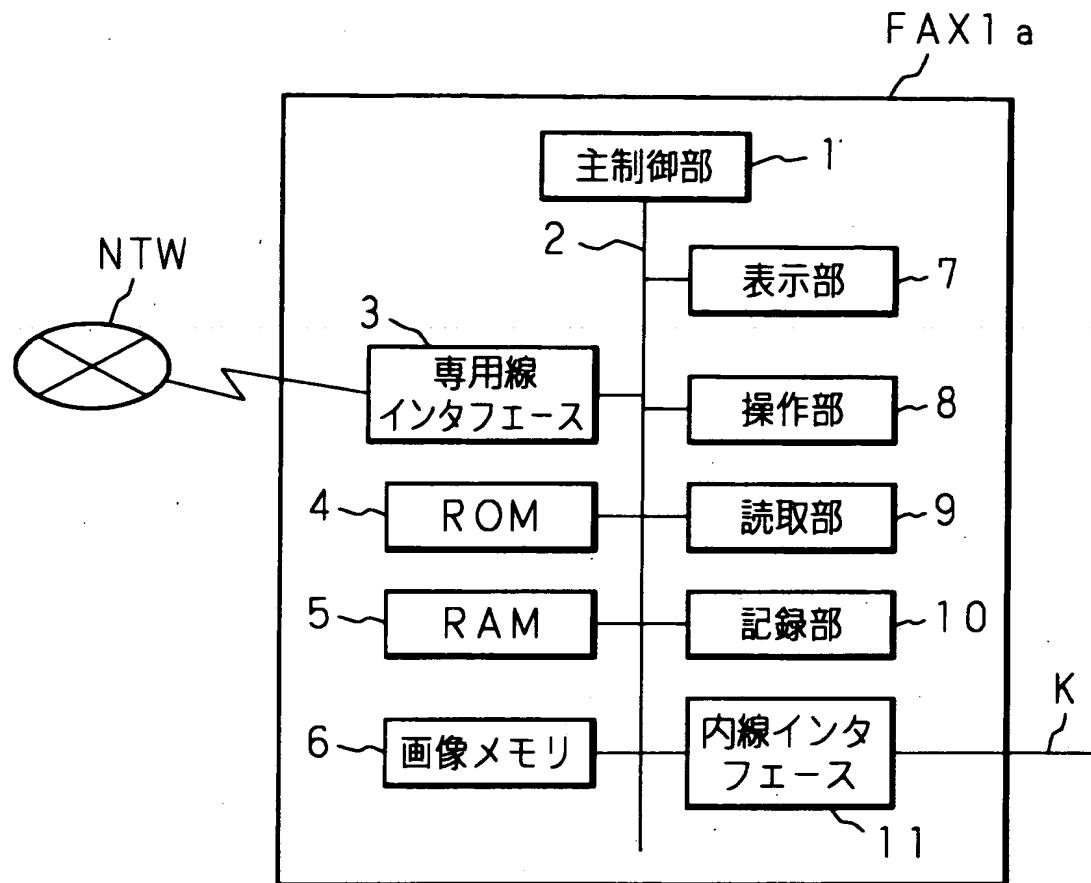
NTW インターネット

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



【図3】

5 a

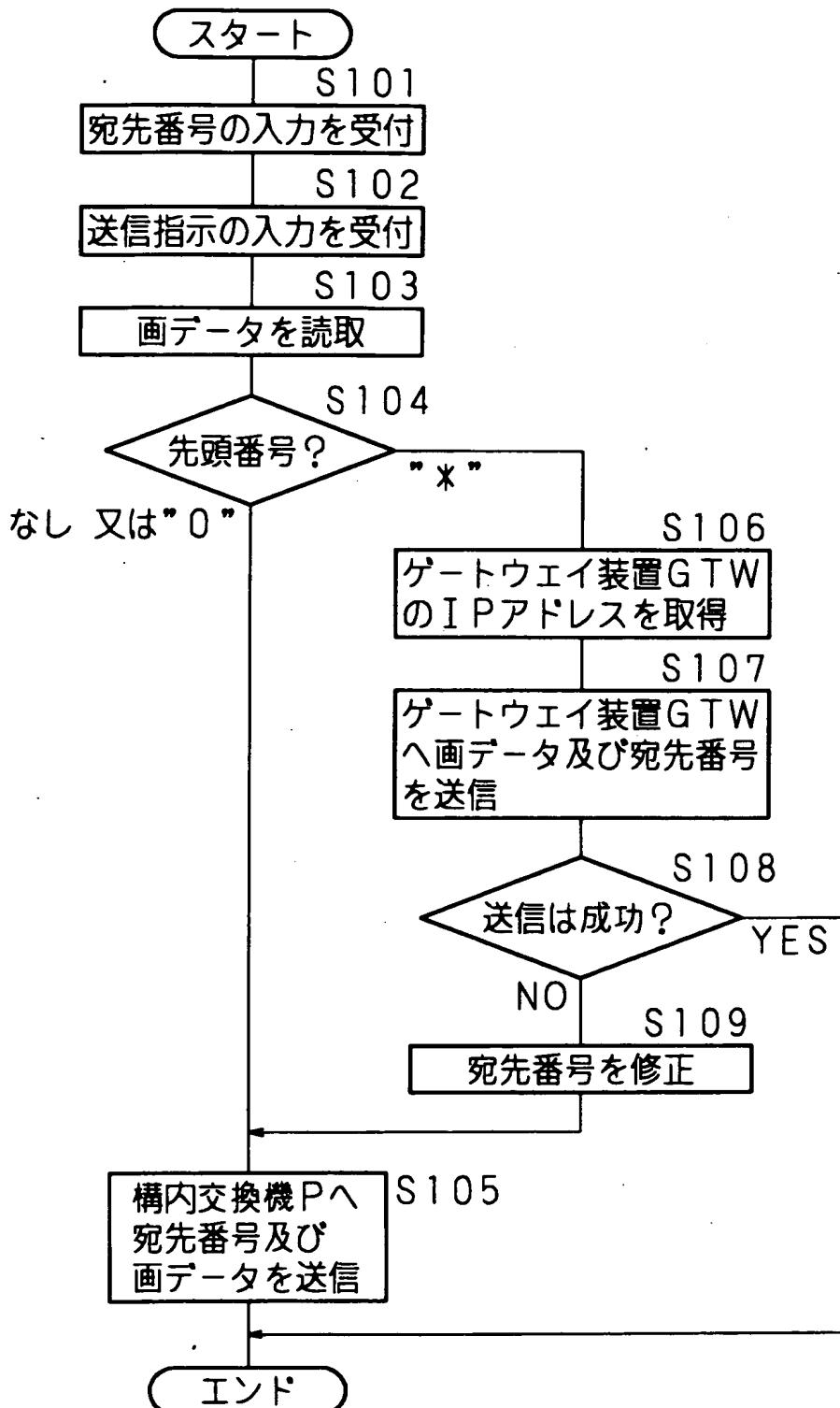
市外局番	IPアドレス
03	000. xxx. △△△. □□□
06	xxx. △△△. □□□. 000
075	△△△. □□□. 000. xxx

【図4】

5b

先頭番号	利 用 網
なし	構 内 網
0	公 衆 網
*	インターネット

【図5】

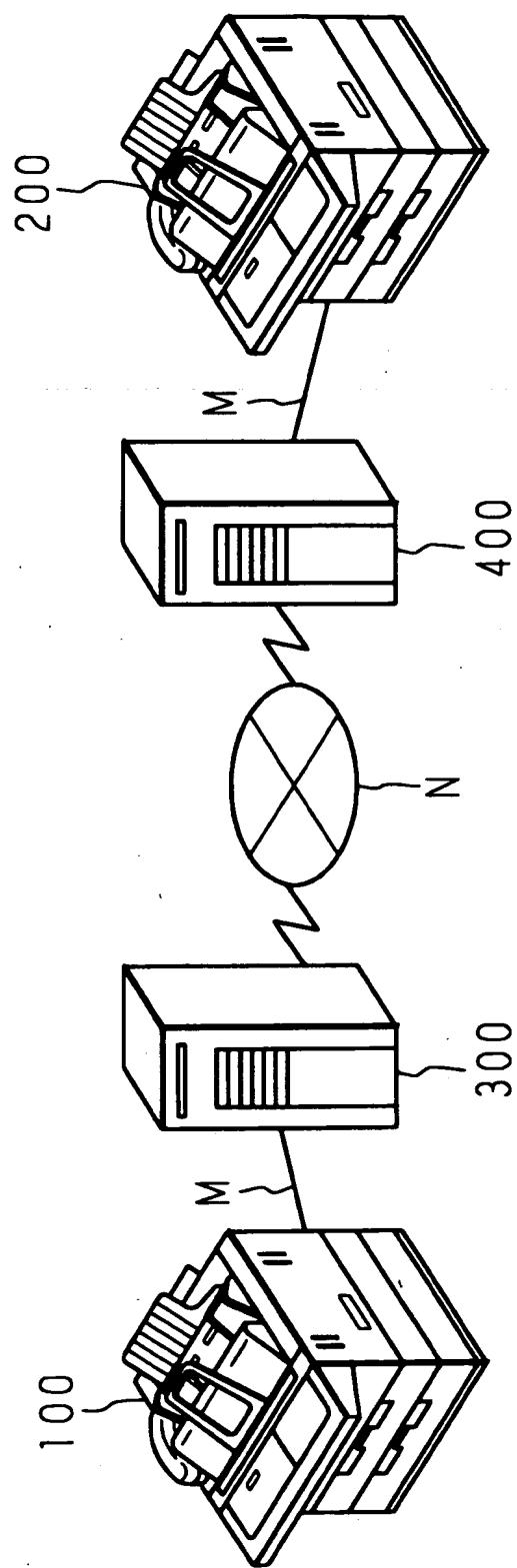


【図6】

5c

短縮・ワンタッチダイヤル	宛先番号	名 称	利用網
S001	2233	村田商会	構内網
S002	012-345-6789	山本商店	公衆網
S003	012-345-6789	山本商店	インターネット
ワンタッチA	012-345-6666	田中電器	公衆網
ワンタッチB	098-765-4321	ABC工業	インターネット

【図7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザが所望の通信網を容易に選択することを可能にするファクシミリ装置の提供。

【解決手段】 送信側のファクシミリ装置は、ユーザによって入力された宛先番号の先頭に付されている先頭番号の判別処理を行い（S104）、構内網、公衆網又はインターネットの何れの通信網を利用して画データの送信を行うのかを確認する。ここで、インターネットを利用すると判定した場合（S104：“*”）、送信先のファクシミリ装置の最寄りのゲートウェイ装置のIPアドレスを取得し（S106）、そのIPアドレスを宛先に指定して送信原稿である画データ及び宛先番号の送信処理を行う（S107）。

【選択図】 図5

出願人履歴情報

識別番号 [000006297]

1. 変更年月日 1990年 8月 7日

[変更理由] 新規登録

住 所 京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

氏 名 村田機械株式会社